

第 9 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 28 年 3 月 23 日（水）午後 2 時 30 分～

ところ 京都府医師会館 2 F 212・213 会議室

△森会長挨拶

森府医会長は冒頭、3 月 19 日（土）に行われた府医第 195 回代議員会の開催にて、初期研修医会費無料化への取り組みに関する報告と府医会員区分の変更に関する定款改定について承認されたことを報告するとともに、会員区分は地区により様々で、研修医の存在しない地区もあるものの、医師会の組織力強化のためにも府医の研修医に対する入会促進のための活動に対して地区への協力を求めた。

また、28 年度の夏を目処に進められている地域医療構想計画策定について、各圏域において行われている地域医療構想調整会議に、地区の代表が出席し議論が行われ、府医からも担当理事が出席し意見を述べていることを説明。地区の先生方にとっては大変難しい課題のため、不明な点等は府医に問い合わせいただきたいとの意向を示した。

次に、日医理事会において新専門医制度は未だ、課題が多いとして府医から意見したことを明らかにし、日医からは拙速にならぬよう専門医制度について十分注意を払うとの回答を受けたことを説明した。日医が、これまで進められてきた新専門医制度に、急遽声を上げたことを評価、4 月からの十分な対応は難しいとしたものの、何も動きを起ささないよりはよかったのではないかとの見解を述べた。

また、ICT を使用して産業化を試みようとする経済産業省による動きが進んでおり、地域包括ケア分野においても ICT を活用して産業化しようとする流れがあることを報告。囲碁の対戦や、星新一賞に応募された作品に人工知能が使用されたニュースを例に挙げ、どこでも MY 病院構想やコンピューター診断等の技術が進んできて、コンピューターが人間に取って代わる時代がやってくるのではないかとの危惧を示し、日医電子認証センターや地域医療構想も含めて、預かり知らぬところで産業化されない様注意が必要であるとして挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 医療安全シンポジウムについて（大坪理事）

「医療の現場と認知症」「医療の不確実性について考える」をテーマに、一般の方々に医療において結論は一つではないということを啓発していきたいとして、幅広い医療関係者の参加を募った。

2. 初期研修医会費無料化の実施および府医会員区分の改正について（谷口理事）

初期研修医会費無料化の実施にあたり会員区分の変更を行うとし、府医第 195 回代議員会において、府医定款ならびに会費賦課徴収規定の改正について、承認されたことを報告した。

また、初期研修医の入会促進を目的に手続きの変更を行うとして、手続き方法について説明。府医の開催する新臨床研修医総合オリエンテーションや初期研修医を対象とする研修会等にて研修医から提出された入会申込書を基に、府医の手続きを経て地区へフィードバックする流れについて、地区から「地区医師会独自の入会申込書を作成しており、他府県の臨床研修指定病院に所属し、京都で地区に先に入会するという研修医の場合、府医が対応できないケースも出てくるのではないか。」との質問がなされ、谷口府医理事はそのようなケースもあり得るとした上で、その場合府医への勧誘もお願いしたいとして協力を募った。

3. 医療機関に退蔵されている水銀血圧計等の回収について（谷口理事）

医療機関に退蔵されている水銀血圧計等の回収スケジュールの説明とともに、地区医と会員に対する参加意向アンケートを実施することを報告。1回の回収事業の最低単位が、水銀血圧計 1000 個以上とされていることを踏まえ、今回一回限りの事業となる。また、京都府内全域実施するため、京大・府医大にもアンケートを実施するとして地区医師会にも協力を募った。

「最終実績量によっては地区への協力金を検討されるとしているが、収支がマイナスになった場合は地区の負担はどのようになるのか」との地区からの質問に対し、会員向けのアンケートにより廃棄数を把握し、本事業においてマイナスが出ないように設定していくことを説明した。

また、事務所の無い地区医師会はどのように回収を行うのかとの質問に対し、保持協と協力して対応を検討する意向を示した。

4. 診療報酬改定にかかる記載要領等説明会について（古家理事）

今回の点数改定にともなうレセプトの記載要領等説明会が 4 月 26 日（火）～27 日（水）で行われることを説明、京都医報 3 月 15 日号・4 月 1 日号にて掲載されている申込書にて応募していただきたいとして、多数の参加を求めた。

5. 最近の中央情勢について（古家理事）

2 月下旬から 3 月中旬にかけての社会・医療保険状況について、医療法の見直しや新専門医制度の話題を中心に説明した。

6. 京都市予防接種券・予診票の新様式の導入について 他（松田理事）

平成 28 年 4 月から京都市において保健医療システムの導入に伴い、予防接種券と予診票綴が変更されたことを報告。順次台帳管理が進められるものの、今年度中は旧様式も混在するとして注意するよう周知を求めた。

7. 学校におけるてんかん発作時の坐薬挿入について（松田理事）

平成 28 年 2 月 29 日に文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課より「学校におけるてんかん発作時の坐薬挿入について」が通知されたことから、一部可能になったと報告した。不明な点等があった場合は府医に問い合わせさせていただきたいとして適切な対応を求めた。

8. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

4月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を募った。

9. その他

なし。

10. 地区からのご意見・ご要望

なし。